

げんき アツプ通信

No.30

おいしいお酒を楽しく飲んで健康に過ごすには「正しいお酒の飲み方」、すなわち「適正飲酒」を実践することが大切です。

1日の飲酒量の目安(このうちどれか一つ、女性や高齢者はこの半分です。)				
ビール (5度)	日本酒 (15度)	ウイスキー (40度)	ワイン (12度)	焼酎 (25度)
				
中びん1本	1合	ダブル1杯	グラス2杯	グラス1/2杯

問保健福祉部 保健課 ☎81-2271

適正飲酒の10カ条

- 1 談笑し楽しく飲むのが基本です
- 2 食べながら、適量範囲でゆっくりと
- 3 強い酒、薄めて飲むのがおススメです
- 4 つくろうよ、週に二日は休肝日
- 5 やめようよ、きりなく長い飲み続け
- 6 許さない 他人への無理強い・イッキ飲み
- 7 アルコール 薬と一緒に危険です
- 8 飲まないで 妊娠中と授乳期は
- 9 飲酒後の運動・入浴 要注意
- 10 肝臓など 定期検査を忘れずに

公益社団法人アルコール健康医学協会より

田村市×獨協大学

ちょこっと

エコライフ ~身近な省エネを実践しよう!~

vol.39 トイレでもできる!ちょこっと省エネ

寒さが増す11月、トイレの便座があたたかいとほっとしますよね。実は、温水洗浄便座は使い方を少し工夫するだけで、電気代やCO₂排出量の削減につながります。

まず、使わないときは便座のふたを閉めましょう。ふたを閉めると熱が逃げにくくなり、貯湯式の温水洗浄便座では、年間約1,100円の節約、約14.7kgのCO₂削減になります。

また、便座の設定温度を「中」から「弱」にすると、年間約830円の節約、約11.1kgのCO₂削減になります。洗浄水の温度も「中」から「弱」にすることで、年間約430円の節約、約5.8kgのCO₂削減が期待できます。

タイマーや節電モードがある場合は、外出中や就寝中など、使わない時間帯に活用するのも効果的です。毎日使うトイレだからこそ、ふたを閉める・温度を見直すなど、できることから始めてみませんか?

(獨協大学国際環境経済学科 OG・OB 日野原・丹野)

温水洗浄便座の省エネ・省CO₂効果の算出根拠はこちらから▶



今月のごみ量
(8月分)

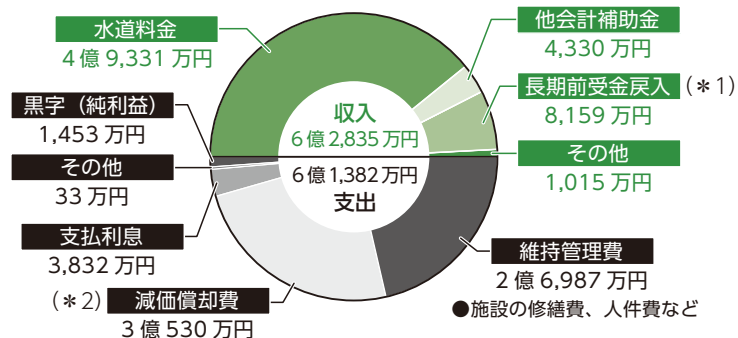
- 1日1人あたりのごみの量: 882g
- 田村市のごみの量の目標: 750g
- 目標達成まで、あと132g減! ※先月のごみの量と比べて、7g増!



7年度決算 水道事業の経営状況

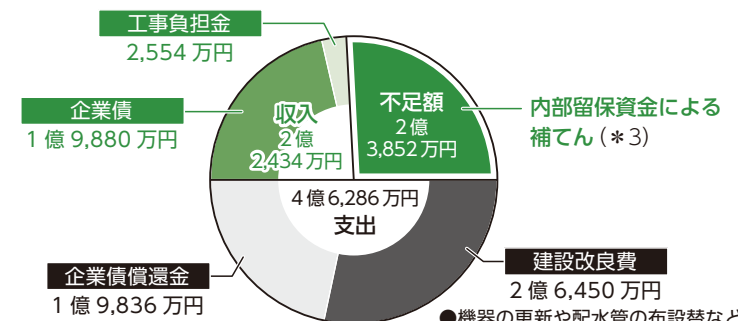
悪戦苦闘中

7年度は、約0.1億円の黒字となりましたが、今後は、人口減少等に伴い料金収入も減少する見通しです。



施設更新費用の積立必須

将来の水道施設の大規模更新・耐震化に向けて備えています。



POINT 経営状況を見るにあたって...

【収益的収支】って何?

家計で例えると、給料などの収入から食費や光熱費などの日常生活にかかる費用を支払う家計簿になります。

【資本的収支】って何?

家計で例えると、貯蓄の取り崩しや借り入れにより、住宅や車などの購入・ローンの返済に充てる家計簿になります。

(*1) 長期前受金戻入

長年使う資産の取得時に交付された補助金等を、減価償却費と同様に収益化した現金を伴わない帳簿上の収益

(*2) 減価償却費

長年使う資産の取得費用を耐用年数に応じて費用化したもの

(*3) 減価償却費などの現金支出を伴わない費用をもって資本的収支の不足額を補填するもの

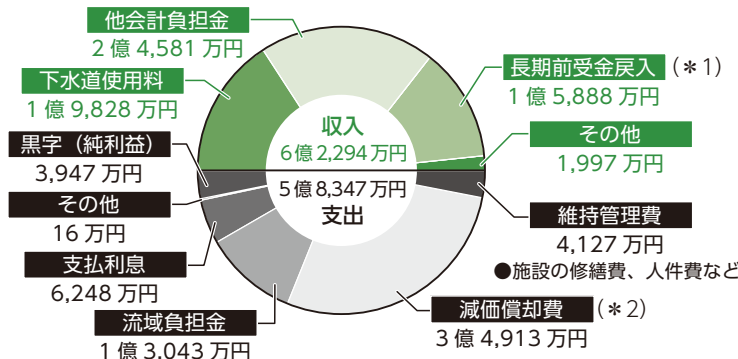
上下水道事業の運営および施設整備等に関する基本方針、計画目標や実現方策を新たに設定した「水道ビジョン・経営戦略」と「下水道事業経営戦略」を策定しました。市ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。



7年度決算 下水道事業の経営状況

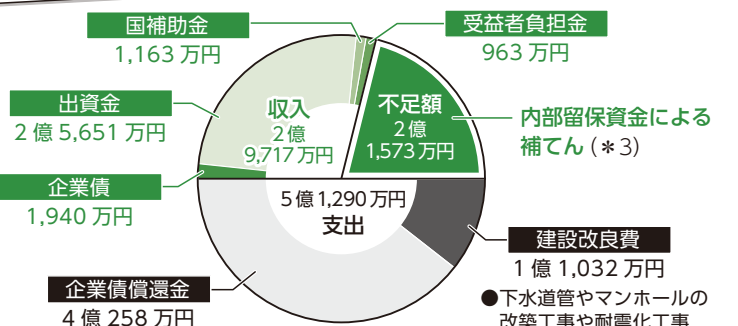
やりくりに四苦八苦

7年度は、約0.4億円の黒字を計上しました。下水道使用料などは増加傾向にありますが、今後施設の維持管理や修繕費が増えていく予定です。



将来に向けて蓄え必要!!

支出の約8割が企業債(借金)の返済で占められています。下水道施設の耐震化・延命化工事の実施や将来の大規模更新に対する蓄えも必要です。



上下水道のいま

市の上下水道事業を取り巻く環境は、人口減少による料金収入の減、物価高騰による維持管理費の増加、老朽化が進む施設・設備等の大規模更新の到来など多くの課題に直面しています。

市は、これまでも事業統合や組織再編等による合理化を進め、効率的な事業運営に努めてきましたが、近年は一般会計からの繰出金(他会計補助金・出資金)

に頼らざるを得ない状況が続いています。公営企業として運営する上下水道事業は、受益者負担が原則です。健全な経営を維持し、将来にわたり安定した水の供給と汚水処理を行うために経営基盤の強化が急務となっています。

問 上下水道局 上下水道課
☎82-1527